

議会

No. 188



年頭のご挨拶

本島平村議会議長



森 正 仁



新年明けましておめでとうございます。
村民の皆様方におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎え
のことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃から議会活動に對しまして、深いご理解と温かいご支
援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年4月、議員定数が12人から10人に条例改正されてから初めて
の村議會議員選挙が行なわれ、10人の議員が選出されました。

議員一同、村民の皆様への付託と信頼に応えるべく、日々精進して
おります。

さて、昨年、国内各地では、火山噴火で避難を余儀なくされた方々
や、大雨による堤防決壊で犠牲者が出るなど、自然災害が多く発生
しましたが、幸い、本村においては、大きな自然災害もなく、穏や
かな年でした。

そして、村制施行60周年、調布市姉妹都市盟約30周年を祝うなど、
節目の年にもなりました。

また、昨年11月には、石川県小松市で開催された「米・食味分析
鑑定コンクール国際大会」において、本村から出品された木島平米
が、8年連続入賞と、5年連続金賞受賞を果たし、小学校の部でも
6年連続入賞するなど、素晴らしい成績を収めることができました。
国内有数のおいしい米の産地であること、また、米を生産する方々
の卓越した技術が認められ、「木島平米ブランド」が定着した感が
あり、更なる発展を期待するものであります。

そして、北陸新幹線の金沢延伸と飯山駅開業により、待望の高速
交通網が整い、大型事業であった道の駅ファームス木島平もオープ
ンいたしました。

迎えました本年は、村づくりの指標となる第6次総合振興計画の
2年目であり、「これからの農村を生きる みんなで楽しみをつく
り出す村」の実現に向けて本格的に歩み出す年となります。

私たち議員も気持ち新たに、一丸となって、住みよい村づくりの
ために真剣に取り組んで参る所存でございますので、村民の皆様には、
より一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます次第です。
結びに、平成28年が、村民の皆様方、そして、本村にとりまして、
実り多き良い年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさ
せていただきます。

議会に対するご意見
をお聞かせください。

☎電話の場合

☎82-3111(内線150番)

E-mailの場合

gikai@kijimadaira.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

平成27年(12月)第4回定例会

上程17議案を審議

12月1日から17日まで

平成27年第4回定例会は、12月1日から17日まで17日間の会期で開かれました。

平成27年度一般会計及び特別会計補正予算8件、承認案2件、条例案1件、事件案1件、同意案(人事)1件、計13件のほか、請願・陳情3件、議員提出1議案を審議しました。

※審議結果表については、全ての議案が、全会一致で可決、承認されたため、掲載を省略します。

承認

承認案件2件は、全会一致で原案どおり承認

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認

10月に行った機構改革に伴う職員の新規職務分類表の改正。

平成27年第4回定例会のあらまし

▼開会日(12月1日) 会期の決定、村長からの行政報告の後、2承認案の採決、平成27年度補正予算をはじめとする9議案の上程、提案理由の説明、質疑等を経て、請願、陳情3件とともに、所管の委員会へ付託しました。

▼一般質問(12月9日) 5人の議員が、村政のさまざまな課題について質問しました。(各議員の質問項目は後述)

▼常任委員会(12月14日) 各委員会で、付託された補正予算、条例、請願・陳情を審議しました。

▼全員協議会(12月1日、17日) 村と議会及び議員間で、報告・協議等を行いました。(主な項目は後述)

▼閉会日・採決(12月17日) 各委員長が付託議案等の審査結果の報告を行いました。また、事件案1件、同意案(人事)1件、議員提出1議案が上程され、採決の結果、全て原案のとおり可決となりました。

◆木島平村一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認

内容

住宅リフォーム補助金追加。
(9月14日付。145万8千円を追加。)

8月末まで地域消費喚起事業で取り組んだ「住宅リフォーム補助金」の申請額が予算額を上回り、緊急に補正が必要となったため。財源は、地方交付税。

(9月定例議会中に事前の相談がありました。)

条例

条例改正案は、全会一致で原案どおり可決

◆木島平村消防団員等公務災害補償条例の一部改正

年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部改正により、非常勤消防団員等に関する政令の改正(公務災害により支給される年金と公的年金との併給調整)が行われたことに伴い、村条例を改正するもの。

補正予算

補正予算案すべて、全会一致で原案どおり可決

◆木島平村一般会計補正予算(第6号)

補正額 7374万3千円を追加。

(予算総額34億1463万6千円)

主な増額内容

- ・戸籍住民基本台帳費(2185万)
- ・戸籍システム更新費用・マイナンバー対応の経費等。
- ・障害者自立支援事業(1390万)
- ・有機センター運営関係(700万)
- ・車両修繕費・電気料の増額等。
- ・その他、特別会計への繰出金、今年度実施した事業の精算等。

◆木島平村情報通信特別会計補正予算(第3号)

補正額 204万4千円を追加。

(予算総額1億2600万8千円)

歳出

情報センター電気料、音声告知端末機の修繕、新規加入者宅引込み工事や情報通信路線補修改良工事の増など。

歳入 新規加入者負担金、移転工事負担金の増。

一般会計からの繰入金 105万4千円。

◆木島平村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 1097万8千円追加。

(予算総額6億6690万1千円)

歳出

保険給付費や拠出金等。

歳入

現在までの歳入歳出を計上するとともに、年度末までの給付額を見込む。

一般会計からの繰入金 967万1千円。

◆木島平村介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出補正額の増減はありませんが、項目間での調整がありました。

◆木島平村観光施設特別会計補正予算(第4号)

補正額 277万3千円を追加。

(予算総額7833万8千円)

内容

ホテルシューネスベルク、パノラマランド木島平の分煙対策

のための喫煙所設置工事費。

財源 全額一般会計から繰入れ。

◆木島平村下水道特別会計補正予算(第3号)

補正額 300万円を追加。

(総額3億8907万2千円)

内容 消費税中間申告納税額の不足見込み額を計上。

財源 全額一般会計から繰入れ。

◆木島平村高社簡易水道特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出補正額の増減はありませんが、電気料の増額分(25万3千円)を、積立金及び消費税分で減額調整しました。

◆木島平村水道事業会計補正予算(第3号)

歳入歳出補正額の増減はありませんが、人事異動に伴う人件費他の増額分(45万1千円)を、建設改良積立金の減額で調整しました。

審査意見等

総務産業常任委員会

- 6次産業の推進に向け、今年度発足した推進協議会等を核として、村内既存事業者(生産者・食堂・食品加工・菓子製造・宿泊業等)との連携による「商品の具現化」や「有利販売」等に積極的に取り組まれない。
- 村の公共施設(指定管理施設を含む)について、特にこれからの時期は、積雪、落雪及び凍結等による事故や管理の不備による破損等が生じないように、十分配慮されたい。
- 有機センターについて、電気代の増額が見込まれている。将来的な状況も見据え、ランニングコストや費用対効果など多面的な比較・検討により、今後の運営方針を検討されたい。
- 米コンクールでは、生産者の皆さんの努力で、毎年好成績が収められているが、村としても「木島平米」のブランド力や「おいしい米の里 木島平」のアピールが、引き続き維持・拡大できるように努められたい。

民生文教常任委員会

- 物品購入やリースの更新にあたっては、根拠を明確にし、適正な業者選定となるよう努められたい。

事 件

議会最終日、次の案件が上程され、全会一致で可決しました。

◆物品売買契約の締結

情報通信施設の番組編集機器のメーカー保守期限5年が経過し、故障した場合、動画の送信と放送番組が組めなくなることが想定されるため、機器の更新を行うための契約。

【契約の目的】平成27年度情報通信施設番組編集機器更新事業

【契約金額】 1539万円

【契約の相手方】 パナソニックシステムネットワーク(株) システムソリューションズジャパン(パナ) 中部社(愛知県名古屋市中)

同 意

◆木島平村固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

委員の任期満了(平成27年12月17日付け)に伴い、次の方の選任に同意しました。

【氏名】 清水洋一(74歳)

【住所】 木島平村大字往郷(栄町)

請願・陳情

次の3件を採択し、国へ意見書を提出しました。

■「集团的自衛権」行使を具体化し、戦争につながる安全保障関連三法のすみやかな廃止を求める請願 (採択)

■米軍輸送機C V 2 2 (空軍)・M V 2 2 (海兵隊) 両オスブレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の請願 (採択)

■介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情(採択)

全員協議会

12月定例会開催中の全員協議会で、村と議会、及び議員間で行った主な協議項目、報告事項等は次のとおりです。

12月1日(火)

【村長提出案件】

〈協議事項〉

・第6次総合振興計画の実施計画について

〈報告事項〉

- ・人口ビジョン及び総合戦略策定の進捗状況について
- ・特別養護老人ホーム高社寮の運営事業者の決定について
- ・木島平村フィルムコミッションの組織設立について
- ・調布市民農園(案)について
- ・除雪体制について

【議員のみ】

- ・長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会総会への要望事項について
- ・木島平村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について

12月17日(木)

【村長提出案件】

〈協議事項〉

- ・物品売買契約の締結について
- ・木島平村固定資産評価審査委員会委員の選任について

〈報告事項〉

- ・農民芸術ふう太の杜による指定管理施設「木島平村郷の家」の管理について

【議員のみ】

- ・馬曲温泉の定休日、営業時間等変更(案)について

各議員の一般質問の項目

12月9日に、次の5人の議員が一般質問を行いました。

◆江田 宏子 議員

- ①財政状況と役場周辺整備等、今後の事業計画について
- ②公共施設の使用料の見直しを
- ③ボランティア体制の強化に向けて

◆土屋 喜久夫 議員

- ①第1次避難所整備
- ②水道水源の水質は大丈夫か
- ③平成28年度村振興施策
- ④補助金施策は適正か

◆樋口 勝豊 議員

- ①戦争法制(安保関連法)について
- ②TPPについて
- ③マイナンバー制度について

◆勝山 卓 議員

- ①TPPの大筋合意を受けて、今後の農業対策は
- ②高齢者を地域で支える見守りネットワークの取り組みについて
- ③村が管理する個人情報管理とセキュリティ対策について
- ④公会計における財務諸表の整備について

◆吉川 昭 議員

- ①農地に関わる今の進行状況について
- ②農林高校存続について

※一般質問の様子は、ふう太ネットの最新のビデオでご覧いただけます。また、質問・答弁の主旨は、議会だより2月号に掲載いたします。

報告 視察 議会

平成27年度 議会国内視察研修

平成27年10月28日～30日 吉川 昭

今年の議会視察研修は、3カ所を訪問しました。1カ所目は、東京都八丈町で、平成22年11月以来の訪問です。子どもたちの相互交流の現状を知るとともに、議員間の意見交換の機会を通じて親睦を深めながら、新たな交流の可能性を探りました。

2カ所目は、東京都中央卸売市場の大田市場の青果部を訪問し、日本一の取扱規模を誇り、物流の拠点として大きな役割を果たしている市場の状況を視察しました。

3カ所目は、埼玉県サイボクハムを訪問し、食の一貫経営という発想で、年間集客数4百万人を誇る、産直ビジネス・観光ビジネスの成功事例の状況を視察しました。

東京都八丈島

八丈町との交流のきっかけ

これは、信濃毎日新聞にも掲載された話です。

村内レストランオーナーの兄で、東京都庁にお勤めの三井幾雄さんが、平成18年に東京都八丈支庁長として島に赴任しました。ある日、幾雄さんから送られてきた八丈島の焼酎を、レストランの常連客に振る舞ったところ、好評だったので、早速メニューに加えました。

常連客らは焼酎を飲みながら、「島

に行ってみよう。」と盛り上がり、平成19年10月、前村長を含め15人程で島を訪ねました。

島では幾雄さんの声掛けで、町長はじめ行政、観光関係者が集まって歓迎し、翌年5月、今度は、幾雄さん達、島の人たちが来村されました。そして、行き来する中で、「海のなない村と、雪のない島の子どもたち」の体験交流話が持ち上がり、平成23年から、小学生の交流が始まりました。

また、今回のお話の中で、八丈町としても、大島経由便の廃止などで、飛行機の利用者を増やす必要があったことも伺いました。

八丈島と長野県の関わり

昭和19年、軽井沢町へ、島民の7割、5800人が疎開しています。

また、諏訪出身でアララギ派歌人の島木赤彦が、八丈島の影響を大きく受け、歌にしています。

安曇野出身の自由民権家、松沢求策も八丈島に渡り、一時事業をしています。

歴史民俗資料館には、明治3年の一揆、(中野騒動)や、安永中野騒動(安永6年)の資料も揃っており、この地域からの流人もいたという興味深いお話を、館長さんから詳しくお聞きしました。

八丈町の概要など

- ・人口7757人、高齢化率36.9%
- ・面積72.21km²(八丈小島含む。富士火山帯に属し、温泉も多く、山は標高700.9mの三原山と854.3mの八丈富士の2つ。)
- ・1、2月の最低気温の平均7.5℃。8月の最高気温の平均29.3℃。年平均湿度80%。
- ・島への交通は、羽田空港から全日空のジェット機が1日3往復と、竹芝桟橋から東海汽船が1往復。

- ・姉妹都市はハワイ州マウイ群、姉妹島は南大東島。友好都市は小笠原村。
- ・小学校3校(401人)、中学校3校(160人)、高校1校(197人)。
- ・町立病院1、診療所3、歯科診療所6。

◆産業

◎産業別就業者数割合

【第1次産業】17%(農業14.2%、漁業2.7%、林業0.1%)

【第2次産業】18.1%(建設14.7%、製造3.5%)

【第3次産業】64.8%(卸売小売11.2%、宿泊飲食10.4%、医療福祉9.3%、公務7.5%、教育学習支援5.3%、運輸郵便5%、その他16%)

◎農業では、フェニックス・ロベレ

ニー(ヤシ科)の切り葉(島人は「ロベ」と呼んでいます)、ストレリチア(極楽鳥花)の切り花が代表的で、経営耕地の作物別作付面積でも花き園芸が72.4%を占めます。

花き園芸の売り上げ12億7千万円。あしたば等、その他農作物2億6700万円。

◎漁業生産額10億円。

◎商工業の加工業製品では、あしたば等の農畜産物2億7千万円。焼酎2億1500万円。くさや類1億1千万円。黄八丈(草木染絹織物)6900万円。

◎観光消費額は、宿泊代15億1千万円。食事代6億5千万円。土産代4億1700万円。施設見学及び交通費その他で13億1200万円。

観光客が一番多い時期は、3月のフリージアまつりですが、魚釣り、ダイビング、トレッキングなど、年間平均しています。8月に来島者が極端に多いのは、帰省によるもので、観光ではチケットが取れないそうです。

◆町の予算規模

一般会計予算74億円、特別会計26億円、企業会計29億円。

主な歳入は、町の税収9億円、地方交付税21億円、都支出金20億円、国庫支出金4億円、町債4億7千万円。企業会計の中に、町立病院があり、毎年4億円の赤字を一般会計から補填しているそうです。

◆その他

郷土料理の島寿司は、ネタを醤油のづけにして、甘めのしやりで握っています。わさびの代わりに

練りからしを使っており、大変おいしい味です。

・八丈町でお酒とは焼酎のことです。物価が高めで、視察前後のレギュラーガソリンが190円〜200円以上でした。(全国平均130〜140円)

・台風の影響で、農水産物ほか、物流が、海空とも何日も動かないことがあります。

・電力は、島内で東京電力が、地熱、風力で足りない分を火力(デイズル)発電しています。

小学校5年生の交流

今年も、木島平小5年生38人が、7月24日から3泊4日の日程で、体験学習に訪れました。

1日目、東京見学の後、夜10時に竹芝栈橋から東海汽船に乗り、2

日目の朝9時30分に八丈島の底土港(そごっこう)に着きます。島での体験は、底土海岸でシュノーケリ

ングの指導を受けての磯遊び。3日目は、八丈島の地産料理講習会。八

丈町の5年生とのバーベキューと海水浴の交流。4日目は、植物公園な

どの島内見学をし、帰路へ。八丈空

港午後2時20分発の全日空機で50分

程。羽田空港からはバスで、夜8時45分に村に帰着です。

八丈町からは、三根小、大賀郷小、三原小の5年生58人が木島平村へ2月18日から3泊4日の日程で、雪山体験をしています。

八丈空港から朝9時発の全日空機で出発し、夕方4時には木島平村着。1日目は除雪車見学。2日目はスキー教室と、そりなどの雪遊び、夜は

鬼島太鼓でのおもてなし。3日目は午前中スキー教室、午後は木島平小5年生とそり遊びなどで交流。3時にパノラマランドを出発。バスで東

京竹芝栈橋へ向かい、夜10時20分発の東海汽船に乗り、4日目の朝9時に八丈島に着き、解散です。

八丈町では、一人当たり5万4千円の費用の内、各家庭で1万円を負担。町で4万4千円を補助しています。

山下八丈町長のお話としては、雪山の体験を子どもたちは大変喜んでおり、今後の継続を望んでおられました。

町長、議長のお話や視察で感じたこと

・人口、観光客ともに増えず、人口減の歯止めに努力しておられます。高校までしかないので、子どもたちは大学進学などで、島外へ出て行ってしまおうそうです。

・地元企業を守るため、離島振興55〜60パーセントの国負担を利用し、公共事業を積極的に行っています。

・広大なサッカー場、野球場などが備わった南原スポーツ公園があります。合宿などの受け入れをしています。

・八丈町の皆さんは、良いものは少々高くてもお買い求め下さるそうです。今回視察したスーパーには木島平米「村長の太鼓判」や

「合格木島平米」、「魚沼米」など様々な、お米が並んでいました。普通の特別栽培米は、空港など別の場所

で販売しているようです。とかく10キロ3千円以下のお米が、スーパーで、当たり前のように並んでいる時代に、大変有難く感じました。おいしいと喜んでいただ

いているようで、なによりです。



八丈町のスーパーに並ぶ木島平米

- 八丈町庁舎と多目的ホール「おじやれ」が、平成25年に完成しています。（鉄筋コンクリート一部鉄骨造地上3階。延床面積7178㎡、ホールは可動席含め462席。）総工費44億5千万円（既存建物などの取り壊し費用2千万円含む）。財源内訳は地方債3億2千万円、基金30億1千万円、一般財源11億円で、地元企業を含めた共同企業体で施工されました。お聞きした話では、建物部分の建設費は37億円、内、自己負担分は26億円程のようです。

- 昨年の本村庁舎計画は、里山資本主義を取り入れた計画で賛否が分かれたましたが、自己負担割合を考えると残念に思えます。

- 山下町長は小学生の交流の他に、木島平村との交流を広げて行きたい。八丈町の農産物をファームス木島平に送り、加工をして、八丈町に戻すことも考えているとのこととです。

- 先にも述べましたが、ロベレニー、ストレリチアなどの花き園芸ではほとんどがこの2種で占められていると思われまます。木島平村の米の総生産額より、はるかに多い金額です。路地で栽培でき、有利な作物があり、すごいことだと思います。

大田市場

東京都中央卸売市場大田市場の青果棟を、JA全農長野の吉村様に案内していただきました。事務棟に事務所を構える全農長野は、情報集めと長野県農産物の販売、売り込みをしています。全農長野では、大田市場青果で7割を占める東京青果と取引をしています。場内には沢山の野菜や果樹類があり、近隣市町村の生産物も多くありました。



せりの様子：大田市場

- 今回のお話でポイントと感じた事は、人口減少以上に生産者が減っている。
- 何の作物が良いかではなく、日本一の産地であるアスパラ、ズッキーニを増やすのがよい。

- 現状を維持できるように、行政でも支援が必要。
- 一時の相対取引から相場重視の市場取引になってきている。
- 産地で予冷をかけ、保冷車で輸送されるが、前日の夜9時頃には市場についており、常温で朝まで置いてある。現在、荷受け後に保管する冷蔵庫を市場で検討中。

サイボクハム

埼玉県日高市にある埼玉種畜牧場。通称サイボクハムは、加工施設、レストラン、ハムなどの直売所、近隣農産物の直売所、温泉などを備えた一見、テーマパークのような施設です。しかし、サイボクハムは、食品加工のメーカーです。

創業者は長野県、現佐久穂町出身の故・笹崎龍雄さんです。戦後、種豚の育種改良の牧場を始めます。「美味しい肉は、健康な豚から」と研究を進め、1990年代から欧州の国際食品品質競技会に出品し、通算14年の金メダルを獲得しています。

ドイツ農業協会の大会では、12年連続の金メダルや、海外出品社・最優秀賞を受賞しています。累計のメダル数は、1千個を超えているそうです。

現在では、種豚と肉豚の生産牧場、

添加物なしの加工、販売など、完全一貫経営をしています。牧場から出る堆肥も有効に農家と提携し、地場産野菜の直売もしています。平日の金曜日ですが、大変、大勢のお客様で賑わっていました。



サイボクハムの売店

最後に

八丈町では、山下町長はじめ、土屋議長、議員の皆様には、お気遣いと、おもてなしをいただきましたこと厚くお礼申し上げます。

これからも交流が進み、発展できますことを願っております。

大田市場では、全農長野東京事務所の吉村次長にお世話になりました。感謝申し上げ視察研修の報告とさせていただきます。

姉妹都市・交流都市 イベント体験研修報告

村が毎年秋に実施している姉妹都市・交流都市でのイベントの実情を把握するため、参加、研修を行いました。

板橋区民まつり

10月17日～18日

森 正仁、萩原由一、樋口勝豊
以上3議員

板橋区長をはじめとする関係者や、出店でお見えになつていた交流都市「八丈町」の議員と懇談を行つてきました。

ブースには、村や近隣市町村出身の方々がおいでになり、村特産品を購入していただくなど、好評のうちを終了しました。
今後、さらに村のPRと交流につながることを期待されます。



板橋区民まつり 木島平村ブース



西東京市 市民まつり 会場

西東京市 市民まつり

11月14日～15日

丸山勝敏、江田宏子、吉川 昭、
土屋喜久夫 以上4議員

2日間に渡り、100の出店を超える大イベントでした。ふるさと応援団の役員の方々にも、販売にご協力いただきました。

ブースには、長野県出身者や、以前来村されたことがあるという皆さんも立ち寄られ、好評のうちに特産品の販売が終了しました。

なお、今回感じたこととして、パンフレットの種類の絞り込みが必要だということ。また、来場者が多いが、出店数も多いことから、どの程度、木島平村の知名度アップにつながるか、今後、検討も必要かと思われました。

調布市農業祭

11月21日～22日

勝山 正、滝沢光平、勝山 卓
以上3議員

姉妹都市の調布市農業祭に、村観光協会と共に参加し、村の観光・農産物をPRしてきました。農産物等は好評のうちに完売しました。

なお、今後は、村内業者や生産者も含めた体制にできないものかと思われました。

また、調布市に出店している新鮮屋との連携で、今後のイベントや普段の営業について、アンテナショップとしての「村のPR」に期待したいと思えます。



調布市農業祭 木島平村ブース

お知らせ

○各議員の視察研修報告書は、議会事務局でご覧いただけます。

○次回議会定例会の開催予定

・3月定例会

2月29日(月)

～3月17日(木)

*平成28年度の当初予算は、この議会で審議されます。

○請願・陳情の受付締切日

2月22日(月)

受付締切日は、議会開催日の1週間前となっております。

開催日等をご確認のうえ、早めに提出をお願いします。

なお、書面を直接議会事務局にご持参いただき、事務局職員へ説明をお願いします。

